

## 雄勝地区

7月3日(金)、雄勝グラウンドで雄勝支部老人クラブ連合会主催の「第5回雄勝地区グラウンドゴルフ大会」が行われました。

当日は、穏やかな天候に恵まれ、4単位の老人クラブ会員約30人が参加し、一人2ゲームの合計点で競いました。

参加者は、日ごろの練習の成果を発揮すべく、真剣なまなざしでショットし、ホールインワンも出ました。また、コースを回りながらの会話にも花が咲き、あつという間に2ゲームが終わり、早くも次の大会を楽しみにしていました。



## 出た！ ホールインワン！！

## 河北地区



## 元気に育つてね！

6月18日(木)、河北幼稚園の園児達が、花いっぱい運動の一環としてサルビアやマリーゴールドの苗を河北総合支所前の花壇に植えました。

この運動は、毎年、河北地区内にある花壇、緑地帯などにそれぞれの地区の皆さんが花を植えることにより、きれいなまちづくりの意識を高め、また、地区を訪れた人達にきれいに植えられた花壇をアピールし、ごみのポイ捨ての防止を促すことを目的に行われています。

当日は、天候にも恵まれ、みんな仲良く整列をして先生と一緒に苗を植えました。

## 桃生地区

6月27日(土)、昨年3月に完成した旧北上川分流施設の竣工式が、国土交通省東北地方整備局長をはじめとする関係者約200人が出席して行われました。

分流施設は、板状のゲートをワイヤウインチで上下させて開閉する協谷水門と、ライジングセクターゲートという特殊な形のゲートで、回転させて開閉する鞆波水門（たねなみ）の二つで構成されています。

施設は、北上川が増水した際に新北上川と旧北上川へと流量の適正な分派を担っているなど、河川の良好な環境を保全する上で重要な施設となっています。



## 旧北上川分流施設竣工式

## 河南地区



## 笑顔で脳活性化

われました。

介護を必要としない元気な高齢者であるために、健康づくりに励んでいる河南地区内6つの脳活性化教室の参加者が集まり、日ごろの活動の紹介と情報交換を行いました。

約100人の参加者は、全員で歌ったり踊ったり、体操をしたり、終始笑い声の絶えない楽しいひとときを過ごしました。

7月2日(木)、河南農村環境改善センターにおいて「脳いきいき交流会」が行

この日、朝から空を覆っていた雨雲は、皆さんの笑い声によってどこかへ吹き飛ばされ、帰りには梅雨空から晴れ間ものぞいていました。



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

### 牡鹿地区

7月4日(土)、水産物地方卸売市場牡鹿売場において、「第1回金華山朝市」が行われました。

当日の朝、水揚げされたばかりの新鮮な地魚などを求めて、朝早くから大勢の方が集まり、にぎわいました。

地元牡鹿漁業協同組合の協力により、金華山定置網で捕れた魚が格安の値段で販売されるとあって、開始から2時間後の午前10時には完売し、大盛況のうちに終了しました。

次回は、8月中旬に行つて予定です。

## 「金華山朝市」開催



### 北上地区

7月11日(土)、北上地区立神・白浜海岸において、「海岸清援隊」が行われました。

これは、北上川の上・下流の住民が協働により清掃活動を行うことで、川の上流からもたらされる河口地域のごみの実態を知り、自然豊かな地域づくりに目指すべく毎年行っているもので、今年で10回目を迎えます。

当日は地元の小学生やボランティアをはじめ、北上川流域に住む岩手県のボランティアなど約650人が参加しました。参加者は立神海岸で流木やペットボトルなどを分別しながら

自然の恵みに感謝して♡

## 「海岸清援隊」開催!



懸命に拾い集めました。午後は白浜海岸で特産のしじみ汁が振る舞われ、地引き網体験などを通して交流を深めました。

### 石巻地区

7月11日(土)、中央児童館で「児童館わくわく夏祭り」が行われました。

梅雨晴れとなった当日は、大勢の子ども達でにぎわい、お楽しみなどのコンテジイベントや輪投げなどのゲームコーナー、EMどろだんご作り体験、食べ物コーナーなどで楽しい時間を過ごしました。

広場では、夏の定番ともいえる流しそうめんも用意され、スタッフ手製の竹を使った本格的な「流しそうめんセット」が、涼しげな雰囲気を出していました。

流れてくるめんを上手にキャッチし、「こ」顔で味わう子ども達の姿に、夏の日差しがよく似合っていました。

## 夏はやっぱり流しめんが最高!!



## 選手も応援も。パワー全開



6月24日(水)、総合体育館で「石巻つくも大学大運動会」が行われ、オットットリレー、よちよちペンギンなどユニークなアイデアあふれる競技が繰り広げられました。

なかでも、棒を使ってラグビーボールを運びリレー競技「行き先はボールに聞いて」では、ボールが思つように転がらないことに悪戦苦闘しながらゴールを目指していました。

応援も徐々に熱をおびて、競技中の選手の間近でパワーを送る姿もみられ、会場は拍手と笑い声で包まれていました。